

平成22年度 決算説明書／事務事業評価シート

部局名	産業経済部
課室名	農業振興課

予算	款	項	目	決算書
	6	2	1	158 頁

目 名
畜産業振興費

事務事業名称
乳・肉用牛改良促進事業

1. 概要

目的	生産性の向上のために改良速度を速める。	対象	畜産農家
事業概要	<p>【肉用牛の改良】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○豊後牛魅力創出事業・・・管内の基礎牛のSCD遺伝子検査を行い、HH型遺伝子を保有する基礎牛造成の推進を行った。 ①特定遺伝子の調査、②肥育牛検査(特定遺伝子の調査)、③美味しさ味比較調査(食べ比べ) ○種雄牛造成推進事業・・・種雄牛造成を推進し、畜産農家の和牛改良意識の高揚を図る。 市内で計画的に生産された種雄牛候補牛の後代検定(肥育試験)に係わる産子の市内導入に対し助成。 ○優良雌牛確保対策事業・・・地域で特色を持った雌牛を保留し、次の世代に引き継ぐ ①口蹄疫対策・系統牛の産子及び但馬牛の保留・導入に対し100千円の助成。 ②①以外の保留・導入に対し50千円の助成。 <p>【乳用牛の改良】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○優良乳用牛導入事業・・・高能力な初妊牛を県外から購入し個々の経営内の改良増殖に対し支援し経営の安定・強化に取り組んだ。 ○乳用牛更新促進事業・・・生産効率や乳資質の低下を招く個体能力値の低い低能力牛を早急に淘汰し、牛群の改良速度を速め酪農経営に長期的な影響を与えることの無いよう取り組んだ。 		

臨/経	事業名	事業内容(主な経費等)		予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財源内訳				評価
						国・県支出金	市債	その他	一般	
臨時	豊後牛魅力創出事業	遺伝子検査 (440頭)	負担金補助 及び交付金	2,160	2,160	776			1,384	3
臨時	種雄牛造成推進事業	地域内23頭(内5頭 対象)	負担金補助 及び交付金	600	200				200	3
経常	優良雌牛確保対策事業	対象牛(184頭)	使用料及び 賃借料	14,500	13,400				13,400	3
経常	優良乳用牛導入事業	対象牛(24頭)	負担金補助 及び交付金	3,700	3,700				3,700	3
臨時	乳用牛更新促進事業	対象牛(40頭)	負担金補助 及び交付金	4,800	4,800				4,800	2
計				25,760	24,260	776	0	0	23,484	

2. 指標設定

成果指標	指標名	特色ある基礎牛の造成		目標年度	指標の設定理由				
	数値	—			H27	安全・安心で高品質な畜産物の産地として信頼される基盤づくり			
活動指標	指標	a	但馬牛保有率	b	SCD遺伝子検査	c	乳用牛生産乳量	d	
	数値	目標	30%	目標	440頭	目標	8,000kg	目標	

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H20	H21	H22
特色ある基礎牛の造成		—	—	—

活動指標名	単位	H20	H21	H22
a 但馬牛保有率	%		21.8 %	22.0 %
			72.7 %	73.3 %
b SCD遺伝子検査	頭			440 頭
				100.0 %
c 乳用牛生産乳量	kg		6,999 kg	7,390 kg
			87.4 %	92.4 %
d				

4. 課題と対応

課題
近年の景気低迷により価格は下落傾向にあることから経営状況は非常に厳しく事業が進まない
対応（改善点等）
農家の基礎牛の調査を行い能力の低いものは淘汰し改良速度を速める

5. 事業費・・・H20～H22（決算額）、H23（予算現額）

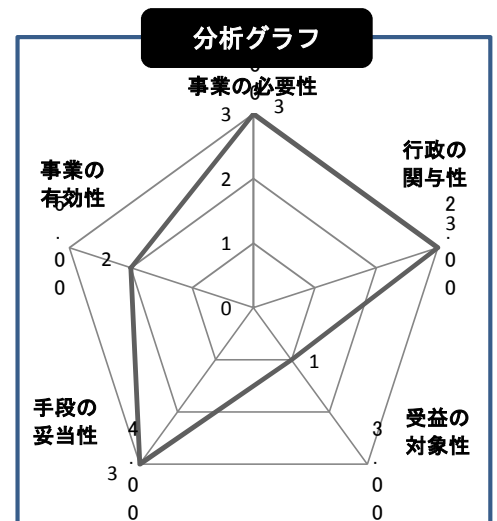
決算額（千円）		H20	H21	H22	H23
		11,037	10,998	24,260	19,576
うち経常経費		11,037	10,998	17,100	18,100
財源内訳	国費				
	県費			776	
	市債				
	その他				
	一般財源	11,037	10,998	23,484	19,576
うち経常		11,307	10,998	17,100	18,100
事業費に係る人件費		7,641	7,253	7,183	7,482

6. H24年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
3年間継続事業として推進している

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 現在景気の低迷により畜産物の価格に大きな変動が起きていることから、早急な対応が必要である
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 改良は、常に時代を担うもので、県との連携をとり市・JAが中心となって推進していく
③ 受益の対象性	事業対象の確認	1 本事業は乳・肉用牛農家の所得向上を目指すものである
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 短期間での事業の取組が必要なことから目的達成のために必要
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	2 景気低迷により経営状況は非常に厳しく改良速度は思ったより進まない



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	農業振興計画に基づき事業の推進を図ること